

ナノ銀利用除染資材による測定について(追加試験条件)

平成24年4月17日

5月22日改訂

○追加試験の経緯

4月16日依頼者(ホテル館)、大学面談(JAEA 同席)時に、依頼者側より次の申し出があった。前回試験に使用した6試料は均一な土壌であるとして、除染資材施用前のバックグラウンド測定は実施していなかった。しかし、少なからずとも差があると考えられるため、「d. 未処理の汚染土壌」を2つに分け、一方に新たに除染資材を施用して測定することにより試料の不均一性を検討するためのデータを取得する。

○測定試料

前回3月15日付け試験要領 6種の測定試料(a～cは除染資材による線量変化確認用の試料。d～fは除染資材効果の比較検討用の試料。)のうち、「d. 未処理の汚染土壌」を使用する。「e. 汚染土壌に【水】を噴霧したもの」を予備とする。

○前処理

[試料d]

- ①汚染土壌を2分割し、秤量する(試料d-1、試料d-2)。必要に応じて、[試料e]を加える(測定に必要となる量を追加する)。
- ②[試料d-2]をトレイ等に薄く広げる。
- ③ナノ純銀パウダーを汚染土壌に適量混ぜる(??g)
- ④全体が均一になるようによくかき混ぜた後に、汚染土壌をU8容器に装てんする。ふたをし、密封した後、識別のために容器に試料名などを記載する。

○前処理、測定等の手順

- (1) 前処理の実施(場所:東京都市大学 原研 5月23日(水)10:00～ )  
機材準備: 汚染土壌、除染資材、トレイ、秤量天秤など
- (2) 測定の実施(場所:東京都市大学 原研(川崎市王禅寺))  
[1試料あたり約30分。2試料で1時間。]  
[試料d-2]の測定実施 [日時 調整中]。  
[試料d-1]の測定実施 [日時 調整中]。
- (2) 測定試料の回収・移送(場所:東京都市大学(川崎市) ⇒ ホテル館)

以上